

問 新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた本市の対応・業務継続計画（BCP）について。

答 感染症が拡大した場合、現行の業務継続計画に基づき優先業務を継続し行政機能を維持していく。

電力自給率のPRについて

問 かつのパワーが4月に電力の供給を始めて約6か月となるが、これまでの状況について伺う。

答 かつのパワーは4月1日から32の市有施設への地産電力の供給をスタートさせ、9月からは新たに21施設への供給を開始したことから、現在53施設に電力を供給しており、当初の計画を上回るスピードで電力契約が進んでいる。

収支の状況については、新型コロナウイルス感染症の影響による全国的な電力需要の減少のため、電力市場の価格が安価に推移していることから、当初の試算を上回る利益が見

込まれている。

成人式について

問 成人式の中止は、県内で本市のみであったが、中止という結論に至った経緯について伺う。

答 4月に新成人による実行委員会を立て上げ、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえながら検討したが、8月の開催は難しい状況であった。延期開催の場合も安全に開催できる見込みが立たないことから式典を中止し、記念品を贈呈するものとして、5月の市新型コロナウイルス感染症対策本部にて決定した。



館花 一仁 議員
(清風会)

質問した項目

- 新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた本市の対応について
- 電力自給率のPRについて
- 成人式について
- 大雨災害への対応について



録画配信はこちらから

問

答

コロナ禍に対応した教育分野におけるGIGAスクール構想に向けた関連事業との連携とICT環境の整備について、オンライン学習において、学校及び家庭における通信環境や学習の在り方や指導者の技能、受ける側の学び方など、対策を検討していく。

DX(デジタルトランスフォーメーション)の対応について

質問した項目

- コロナ禍に対応した新しい生活様式に向けた対応について
- DX(デジタルトランスフォーメーション)の対応について
- コロナ禍における避難所運営の在り方について

問 ITを浸透させることで市民生活をより良い方向へ変化させ、医療や住まい、交通などがアクセスしやすいサービスを地域限定で整えたり、空き家を利用する仕組みづくりを推進し、誰もが住み続けられるまちづくりを実現するべきと考えるがどうか。

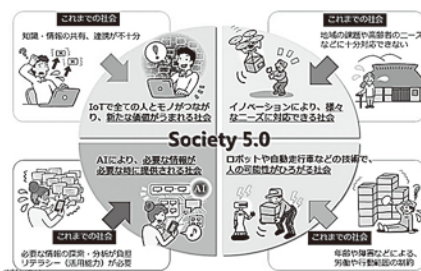
答 新型コロナウイルスの感染拡大の景況で、人と人との接触を避ける生活が求められる中、DXに一層注



兎澤 祐一 議員
(鹿真会・公明)

目が集まっている。現在、策定を進めている第7次鹿角市総合

計画では、戦略的にまちづくりを進めるための取組方針の一つとして、「積極的な未来技術の導入」を位置づける予定とし、デジタル化によって地域社会に役立つ仕組みや価値を生み出すことができるよう、国等の支援制度を見極めながら今後策定作業を進める中で具体的な取り組みを検討し、市民生活の利便性向上に努めていく。



Society5.0で実現する社会



録画配信はこちらから